



しじゅうから



6月に入ると雨が降る日が続きます。生き物を探しに外へ出ることが少なくなってしまいますね。ジメジメする梅雨の季節

ですが、実はクワガタムシ観察の最盛期になります。えっ？夏休みの頃じゃないの？と思う方も多いと思います。しかし6月中旬から7月上旬ぐらいまで、つまり夏休みが始まる前が一年で一番クワガタムシが見られる時期なのです。これはクワガタムシの成虫のエサとなる樹液が関係しています。樹液とは植物の水分。植物の体にたっぷり水分があるとたっぷりの樹液を作ることができます。梅雨は毎日のように根から水を吸収できるのでもってこいですね。また、梅雨が明けて暑い時期になると、植物は枯れないように水分をたくさん根から吸い上げるようになります。これも樹液を作る材料になります。クワガタムシは樹液のピークに合わせて成虫になるのです。森の中で甘酸っぱい匂いがただよってきたら樹液が近い証拠。クワガタムシを見つける大ヒントになります。



↑樹液にやってきたミヤマクワガタ

ミヤマクワガタ（オス）の頭、大あごの違い



育った方が大きい成虫になることが多いです。体が大きいと樹液を独占しやすくメスとの出会いも多くなります。体が小さいと良いことはないのでしょうか？いえ、大きい相手と出会った時にするりと逃げ出せるため、ケガをするリスクが減るので生きのびやすくなります。大きなオスが外敵に食べられたり戦いに負けて死んでしまったりするころまで生き残り、メスと出会うのです。体の大小それぞれにメリット・デメリットはありますが、どちらも子どもを残すための戦略を持っているんですね。

●イベントあるよ
ミニムサ：ミヤマクワガタ



イベントあるよ

●昆虫観察会

樹液に集まる虫などを観察し、昆虫採集のコツを学べます。

日 時：6月29日（日）9:00～10:00

場 所：小鳥の森ネイチャーセンター

対 象：小学生とその保護者

定 員：5組

申込み：お電話にて

たからもの 森の宝物探し

小鳥の森で宝物（自然の中の生き物）を見つけることができたらオリジナル缶バッジをプレゼントしています。その日に見つける宝物が何かをネイチャーセンターで確認して、写真を撮ってレンジャーに見せるとミッションクリア！

今月の生き物はコレ

ハシボソガラス (カラス科)

今月の缶バッジのモデルは「ハシボソガラス」。ハシ=くちばしのこと。くちばしが細いカラスです。体の大きさは50cmぐらい。「ガーガー」と濁った声で鳴きます。くちばしが太い「ハシブトガラス」も福島市にはいます。ハシボソよりもちょっと大きくて57cmぐらい。声は澄んだ「カーカー」。ボソとブト。見分けられるかな？

カラスの羽の色を昔の人は「濡羽色(ぬればいろ)」と表現していました。しっとりとつややかな女性の黒髪を「カラスの濡れ羽色のようですね」とほめました。ただの黒ではなく「美しい黒」なんですね。

さて、カラスは私たちと同じくテクテクと左右の足を交互に出しながら歩きます。地面の上でエサを探すことが多い鳥によく見られます。カラスは木の実など植物だけでなく、死んだ動物の肉もよく食べます。おかげで森の中がくさった肉であふれることはありません。つまり森の中の大件なお掃除屋さんなんです。ゴミ置き場で生ごみを荒らして迷惑！と問題になりますが、カラスにとっては「くさった肉を食べてここを掃除中ですが？」なのかもしれません。とはいっても町が汚れるのは困りますね。ゴミ出しルールを守って、人間とカラスの良い距離を作りましょう。



レジゅっぴー クイズ

小鳥の森 青い鳥 三兄弟

問題 小鳥の森の青い鳥三兄弟。この中で一羽だけ旅をしないで一年中、小鳥の森に住んでいる鳥がいるよ。どの鳥かな？ ※答えはどこかにあるよ。

①オオルリ



さえずりが美しい三鳴鳥の一つ。青い宝石「瑠璃(るり)」色が美しい瑠璃三鳥や、夏を代表する三大夏鳥のひとつ。オスの青い羽とお腹の白のコントラストがとても美しい！

②カワセミ



青緑の「翡翠(ひすい)」色。光の当たり方でいろんな青に見えるから「水辺の宝石」と呼ばれる。水中ダイビングが特技。魚やエビを捕まえるよ。

③ルリビタキ



オオルリと同じ瑠璃三鳥の一つ。ルリビタキのオスがきれいな青色になるまでには3年かかる!? 夏は高い山に移動して子育てするよ。尾羽フリフリダンスがかわいい。

最新情報を配信中！

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター）

《入場無料》休館日：毎週月曜日

（祝祭日の時はその翌日）

開館時間：午前8時30分～午後5時



ホームページ